

# 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和3年1月

協議会名: 本庄市交通政策協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持補助事業

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
朝日自動車株式会社	本庄北地域デマンド	○デマンド交通の周知と利用促進のため試乗券を配布しアンケートを実施。	A	B 目標利用者数:13,000人 R2年度利用者数:10,127人 目標利用者満足度: 満足 85%以上 不満足 現状より減少 R2年度利用者満足度: 満足 45% 普通 27% 不満 24%	新型コロナウイルス感染症の影響により、なるべく外出を控えるといった行動変化が利用者数に表れているが、移動手段を持たない交通弱者にとって買い物、通院といった日常の足となっているデマンド交通は、コロナ禍の中にあっても一定の利用がある。こうした状況はしばらく続くと思われ、利用状況の推移を見ながら、予約システムや車両数の見直しなど利便性を向上させる見直しを検討していく。
	本庄南地域デマンド	○地域コミュニティの集まりなどを活用し、利用説明を行った。	A	B	
	児玉市街地デマンド	○予約ルールの一部見直し実施。	A	B 目標に対する実利用者数の割合は77.9%で、利用者数は前年度比15.5%減となった。アンケート調査において満足度は前年度と比べ約4%増、不満足については約2%減となっている。コロナ禍により利用者数は減少したが、移動手段を持たない高齢者等、交通弱者の移動手段としての役割を果たしている。	
	児玉山間地域デマンド	○HPや駅自由通路に利用案内を掲載し、利便性の向上と利用促進を継続して図った。	A	B	
本庄観光株式会社	本庄シャトル便	○HPや駅自由通路に利用案内を掲載し、利便性の向上と利用促進を継続して図った。	A	B 目標利用者数:13,000人 R2年度利用者数:9,802人 目標利用者満足度: 満足 85%以上 不満足 現状より減少 R2利用者満足度: 満足67% 普通26% 不満4%  目標に対する実利用者数の割合は75.4%で、前年度比26.9%減となった。前年度と比べ満足度の割合は増加、不満足は減少した。コロナ禍により利用者は大きく減少し、鉄道利用者の減少も交通結節点(本庄駅、本庄早稲田駅)を結ぶ本路線の利用者減の一因と考えられる。	満足又は普通とアンケートで回答した利用者が93%となっている。今後もしばらく新型コロナウイルス感染症の影響により以前より低い利用者数を推移すると予想される。 アンケート等で寄せられる意見も踏まえ、より利用しやすい運行内容を必要に応じて検討していく。